

おせっかい

校長 大瀧 訓久

中学時代の林間学校？ 日々早朝、山荘に泊まっていた我々生徒は先生に突然たたき起こされた。『毛布を巻いて外に集合！』『懐中電灯を持ってきている者は持つて出ること。』夜明け前の真っ暗な山荘前の広場に集められる。「なんだ、なんだ。」「眠いよ、寒いよ。」「うるさい！ 班長、班員は全員いるか！』『よし、各班並んで、山に登れ！』何が起きているのかよくわからない。真っ暗な山道を登りながら「誰かがルール違反したんだ」「罰・登山かよ」「江川（学年で一番怖い体育の先生）の仕業に違いない」等々初めのうちはしゃべりながら登っていたが、勾配がきつくなった後半は閻魔大王に地獄行きを宣告された亡者のごとく黙々と登り続けた。やっとの思いで山頂に到着。当然真っ暗。何もなし、何も見えない。山頂なので風は強い。ジャージ上下に毛布を肩から巻いているだけなので、皆寒くて歯をカチカチさせながらブルブル震えている。暗闇に目が慣れてくると、山頂の下には灰色の雲が不気味に広がっているのが見えた。これが地獄の景色か。しかし、少しずつ明るくなるにつれ雲は白い海に演出を変えた。生まれて初めて見た「雲海」。「雲の海」素晴らしいネーミングである。東の空が明るくなってきた。やがて空は白からオレンジに染まり黄金色の中からついに太陽が顔を出す。雲海も白銀に輝く。太陽の圧倒的なまぶしさだけでなく、大いなる熱も感じる。温かい。体の震えが止まる。その時、朝日に照らされた脂ぎった顔の江川先生が吠える。『凄いだろ、これが林間名物、日の出詣でだ！』人生初めて見た山頂からの日の出の美しさを今でもしっかりと覚えている。その景色が忘れられず教員になった後、同じ山に登り、写真好きの今は亡き父と一緒に日の出詣でにチャレンジしたが、天気が悪く見ることはできなかった。

高校時代、歌舞伎の評論家でもあった国語の先生が『君たちは歌舞伎を観に行く機会はめったにないだろう』と楽しみにしていた遠足を歌舞伎鑑賞教室に変更してしまった。「えっ、歌舞伎？」「なぜ今、歌舞伎？」と皆で憤慨したが、初めて観た歌舞伎は意外と面白く未だに記憶に残っている。この時、国立劇場で観た演目は『鳴神』。解説は岩井半四郎。主役の鳴神上人（なるかみしようにん）を演じた役者は後に市川團十郎（現在の市川團十郎のお父さん）を襲名した。恥ずかしながら、国語の先生の予言通り、今のところ私が生（なま）で観た歌舞伎はこの1回だけである。

学校は【おせっかい】なところである。【おせっかい（お節介）】を辞書で引くと【余計な世話を焼くこと】と書いてある。学校は生徒に対して余計な世話を焼く。本当に【おせっかい】である。けれども私は40年以上経ってもあの「日の出」と「歌舞伎」は忘れられない。今は、体験させてくれた先生方の【おせっかい】に感謝したい。本校でも、昨年度コロナ禍の規制があった中でも、私立関東第一高等学校の現役の高校の教員に来てもらい授業をしてもらったり、東京オリンピック女子バレーボール監督を務めたプロ指導者の中田久美さんと呼んで指導してもらったりした。今年度も、区内の児童や生徒がSNSを通じて性被害をうける事例が絶えないというので、外部から講師を招いて例年一年生をみのセーフティー教室を全学年で実施しSNSの注意ポイントを再確認してもらった。また、今年度もプロのアスリートに来てもらい指導や講演を予定している。

何度も言うが、君たちは可能性の塊である。君たちの可能性に、五感に、いろいろな手段や方法で刺激を与え、私たち大人が想像できない未来を君たちに創造してもらいたい。

これからも東島根中学校は生徒たちに「愛のあるおせっかい」を続けていきたいと思う。

選んだ所で咲き誇れ

私は、よい高校とは単に偏差値が高い高校ではなく、その人の力を成長・発揮させてくれる高校だと思います。自分の力を伸ばせる高校はどこなのか、自分の目と耳と足で探し出してください。大人からの助言を大切にしながらも、最終的には自分の意志で選択・決定してください。人生は、選択・決断の連続です。「自己決定」に「自己責任」。とても勇気が必要になりますが、このことが大人への第一歩、自立につながっていきます。入試での面接では『志望動機』と『目的意識』がとても重要になります。その高校で、何を頑張りたいのか、その事を活かして高校卒業後はどのような道に進みたいのかを胸を張って答えられるようにしておきましょう。

ところで、最近の高校説明会の情報を集めると、「英語」に力を入れる高校が増えています。どの教科の学習も大切ですが、急速に国際化が進む世の中では英語力向上は今後さらに大切になってきます。今月下旬にも予定されていますが、英語検定なども積極的に受験してください。私は毎年3年生に行う面接練習で、「もしあなたが社長さんで、採用の時に日本語しか話せない人と日本語と英語を話すことができる人がいたならばどちらを採用しますか？」と質問して、英語学習の大切さを説いています。ところが、ここで質問内容を少し変えて、「日本語しか話すことができない誠実な人と日本語と英語を話すことができるが不誠実な人だったならばどちらを採用しますか？」にしたならば、文句なしに誠実な人の方を採用すると思います。どんなに時代が変化しようと、どこの国・地域に住んでいようと、最終的に人としての優先順位の1番目は『誠実さ』なのです。誠実とは、真心をもって人や物事に対すること。具体的には、「嘘(うそ)をつかない、すぐ人のせいにししない」「真面目に取り組む、一生懸命」「他人を思いやる」「物を大切にする」ことだと思います。東島根中の皆さんには、この『誠実さ』と基礎学力・体力、そして英語力を身に付けてもらいたいと思います。そうすれば、どんな世界でも活躍できる人になれるはずです。多くの生徒が初めての進路選択、自分でしっかりと決めましょう。そして、自分で選んだ所で咲き誇ってください。

今後の予定

- 5月19日(金) 生徒総会リハーサル(中央議会)
- 20日(土) 土曜授業・学校公開、第1回学習コンテスト、生徒総会
- 22日(月) 教育実習始(～6/10(土)、運動会特別時間割始、都調査(3))
- 24日(水) 尿検査2次
- 25日(木) 尿検査2次追加、耳鼻科検診(全)
- 26日(金) 英語検定
- 30日(火) 運動会係会②
- 31日(水) 運動会予行
- 6月 3日(土) 第63回 運動会〈給食あり!〉
- 5日(月) 振替休業日
- 6日(火) 運動会予備日
- 10日(土) 土曜授業、教育実習終、学校説明会 11～ 体育館
- 22日(木) 前期中間考査・1日目(英語・数学・国語)〈給食なし〉
- 23日(金) 前期中間考査・2日目(社会・理科)〈給食なし〉
- 26日(月) 実力テスト(3年)
- 27日(火) マナー教室(2年)
- 28日(水) 専門委員会
- 29日(木) 小学校6年生中学校体験